

2021 年度環境経営レポート

<対象期間：2020 年 9 月～2021 年 8 月>



ワコウクリーンサービス株式会社

2022 年 8 月 19 日発行



目次

1. 環境経営方針
2. 会社概要
 - 登録事業者の概要
 - 当社主力サービスおよび主要取引先
3. 認証・登録の対象組織及び活動
 - 会社組織図
 - 役割権限表
4. 環境経営目標実績と環境経営計画実績
 - 中期環境経営目標
 - 47期の環境経営目標と実績
 - 環境経営計画実績
 - 評価
5. 主な環境負荷の実績
 - 47期環境負荷の実績
 - 評価
6. 次年度環境経営計画
7. 環境関連法規等
 - 遵守状況の確認及び評価の結果
 - 違反、訴訟等の有無
8. 取り組み紹介
9. 代表者による全体の評価と見直しの結果



1. 環境経営方針

基本理念

ワコウクリーンサービスは廃棄物の収集運搬、中間処理及び清掃の業務を通じて、私たちの暮らしの根幹を成す環境を後世に受け継ぐために、環境保全への取り組みを重要課題と認識し、全社員の知恵と工夫によって環境負荷の低減に努めます。

経営理念

安心して快適に暮らせる環境を未来へ受け継ぐ

- 一、かかわり合うことでお互いに成長します。
- 一、環境を通して生き活きとした地域を創造します。
- 一、人の繋がりを通して地球環境に貢献します。

環境経営方針

1. 環境活動を通して顧客満足度向上をはかり、日常業務と環境保全を一体のものとしします。
 - ・二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
 - ・分別促進、リサイクル推進による最終廃棄物割合を低減します。
 - ・事業活動に関わる水資源使用量を削減します。
 - ・使用化学物質の管理を適正に行います。
 - ・お客様への分別促進により自社を含めた環境意識の向上を図ります。
2. SDGs が掲げている目標実現のための活動に継続的に取り組みます。
3. 社会ニーズや地域社会に対応できる環境経営を継続的改善に努めます。
4. 環境関連法規制等、及びその他の同意する要求事項を守ります。

制定日：2017年9月30日

改定日：2020年6月18日

ワコウクリーンサービス株式会社

代表取締役
吉武恭介



2. 会社概要

組織概要

事業所名：ワコウクリーンサービス株式会社
代表者名：代表取締役 吉武恭介
本社：徳島県徳島市中前川町 5 丁目 1-254
論田事務所：徳島県徳島市論田町新開 66-71
中間処理工場：徳島県徳島市論田町新開 66-71
駐車場：徳島市助任町 5 丁目 2-45
HPURL：<http://wakou-cs.co.jp/>



環境管理責任者

環境管理責任者：総務部主任 吉武由理
担当者：高木一成
TEL：088-661-7788

事業規模

資本金：1,000 万円
売上高：20,788 万円 (2021 年 8 月期)
20,268 万円 (2020 年 8 月期)
20,009 万円 (2019 年 8 月期)

従業員数：27 名 (2022 年 7 月)
本社：50 m²
事務所：232 m²
助任駐車場：254.4 m²
論田中間処理工場：2,645 m² (積替保管施設なし)

事業年度

9 月～8 月 (1 年とする)

主要取引先

博愛記念病院様、鳴門センター街様、徳島通運株式会社様、健生病院様
三井住友海上保険様、株式会社ふじや様、イオンディライト株式会社様



組織沿革

昭和 49 年 1 月 会社設立 資本金 100 万円
昭和 53 年 4 月 本店を徳島市春日町に移転、徳島市一般廃棄物処理業許可取得
昭和 56 年 1 月 本店を徳島市中前川町に移転
平成 4 年 3 月 産業廃棄物収集運搬業許可（徳島県）取得
平成 7 年 11 月 資本金を 1,000 万円に増資
平成 13 年 6 月 北島町一般廃棄物処分業許可取得
平成 17 年 3 月 松茂町一般廃棄物処分業許可取得
平成 18 年 4 月 藍住町一般廃棄物処理業許可取得
平成 19 年 4 月 産業廃棄物処分業許可（徳島県）取得
平成 19 年 4 月 産業廃棄物中間処理施設開設
平成 22 年 3 月 徳島県優良産業廃棄物処理業者第 2 区分認定
平成 30 年 8 月 エコアクション 21 認証取得
令和 2 年 3 月 産廃情報ネット登録
令和 2 年 7 月 事務所を徳島市論田町に移転



事業内容

< 廃棄物処理業 >

一般廃棄物収集運搬業（徳島市、北島町、藍住町、松茂町）
産業廃棄物収集運搬業（徳島県）
産業廃棄物処理業（徳島県）

< 清掃業 >

ビル清掃管理、ハウスクリーニング



施設等の状況

< 破碎 > 最大 2.52t/日

廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、（以上 6 種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破碎物であるものを除く）

< 圧縮 > 最大 1.92t/日

廃棄物の種類：廃プラスチック類、金属くず（以上 2 種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破碎物であるものを除く）



許可の内容

< 一般廃棄物収集運搬業 >

	許可番号	許可年月日及び許可の有効期限	事業の範囲
徳島市	第 114 号	令和 4 年 4 月 1 日 令和 6 年 3 月 31 日	徳島市全域
北島町	第 14 号	令和 4 年 4 月 1 日 令和 6 年 3 月 31 日	北島町全域
藍住町	第 7 号	令和 4 年 4 月 1 日 令和 6 年 3 月 31 日	藍住町全域
松茂町	第 8 号	令和 4 年 4 月 1 日 令和 6 年 3 月 31 日	松茂町全域

< 徳島県産業廃棄物収集運搬業 >

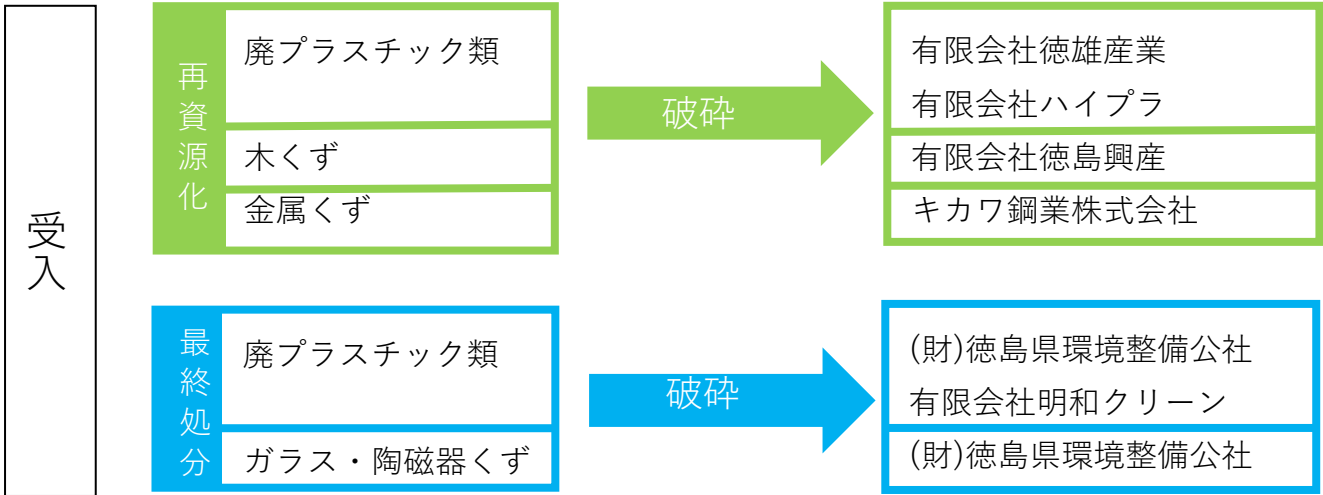
許可番号	3600046266
許可年月日及び許可の有効期限	令和 4 年 3 月 9 日 令和 9 年 3 月 8 日
積み替え保管	なし
許可品目	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、がれき類（以上 10 種類特別管理産業廃棄物、自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等であるものを除き、水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む）

< 徳島県産業廃棄物処分業 >

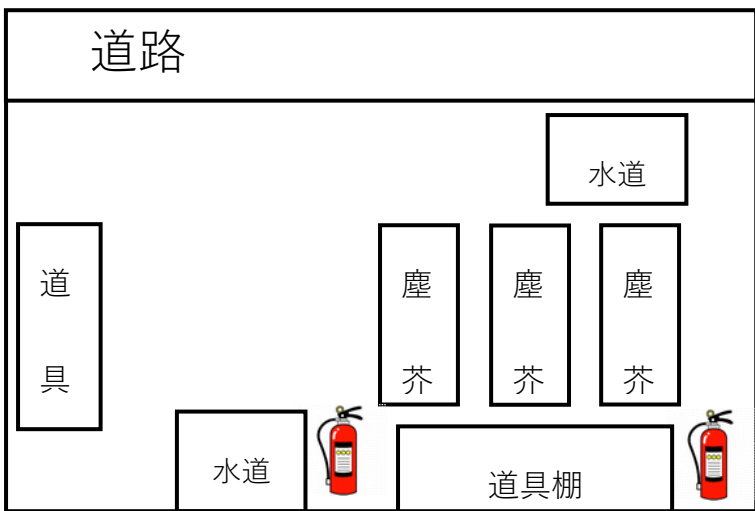
許可番号	3620046266
許可年月日及び許可の有効期限	令和 4 年 7 月 4 日 令和 9 年 4 月 24 日
事業の範囲	中間処理
許可品目（破砕）	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず（以上 6 種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破砕物であるものを除く）当該等産業廃棄物に石綿含有廃棄物を含まない。
圧縮	廃プラスチック類、金属くず（以上 2 種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破砕物であるものを除く）



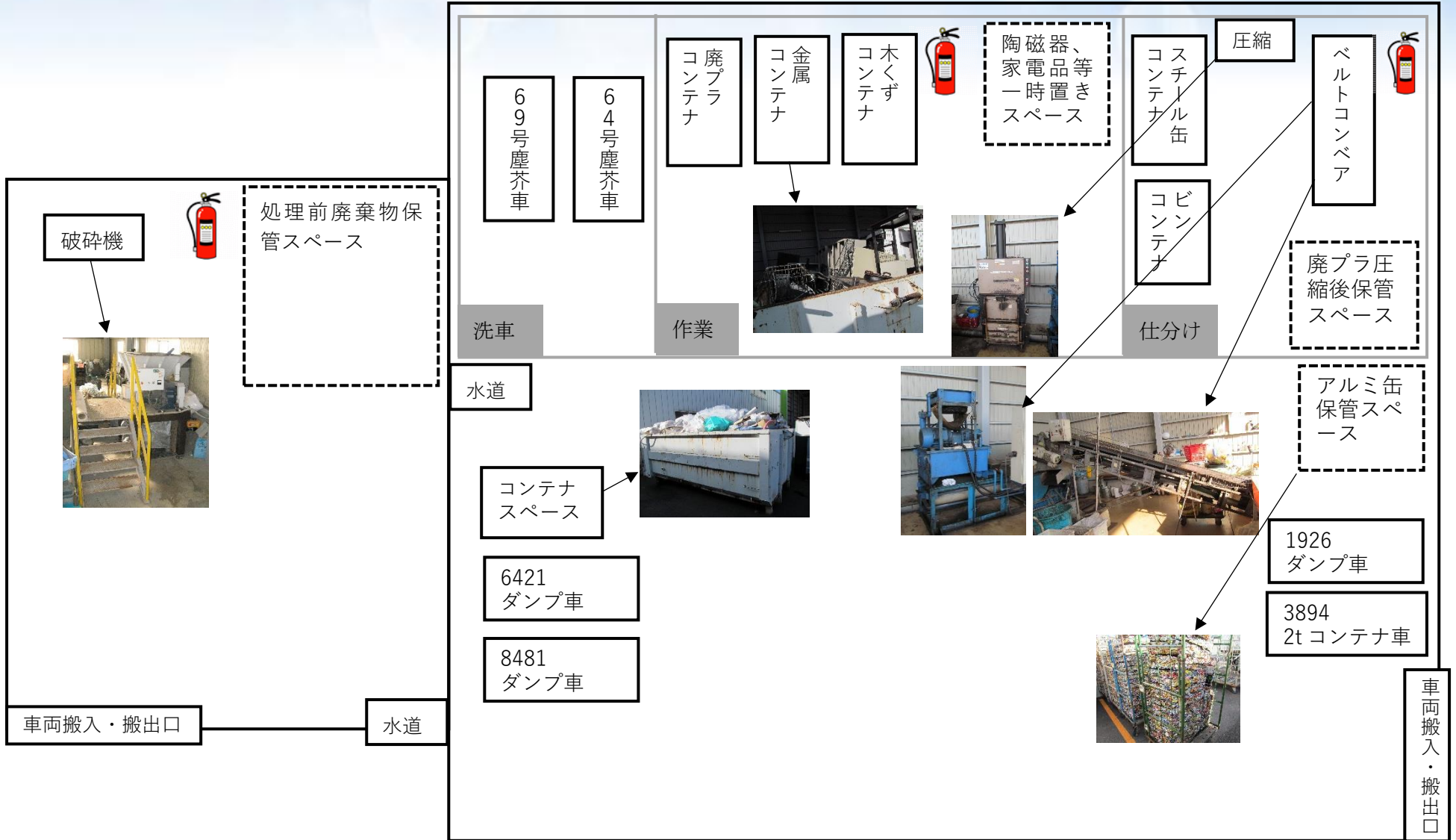
処理工程図



助任駐車場配置図



中間処理施設配置図



運搬車両の種類と台数



塵芥車（4t7台、3t1台、2t4台）
主に早朝のルート回収の車両で、市町のゴミ回収でもよく見かける車です。内部の回転板でゴミを巻き込み圧縮するため、多くのゴミを積むことができます。



2t ダンプ車（3t1台、2t2台）
スタンダードなダンプ車です。主に粗大ゴミの回収の際に使用します。



脱着式コンテナ車（4t2台、2t1台）
現場にコンテナを設置し、廃棄物を集積、運搬する車両です。飛散の可能性がある廃棄物は飛散防止のためホロ付きのコンテナを使用します。



4t クレーン付きユニック：1台
トラックに付いているクレーンを使用し、重量物を釣り上げて運搬する車両です。



軽トラック：1台
道が狭い際や、少量の廃棄物の運搬に使用する車両です。

廃棄物処理料金

処理依頼の都度の見積りによる

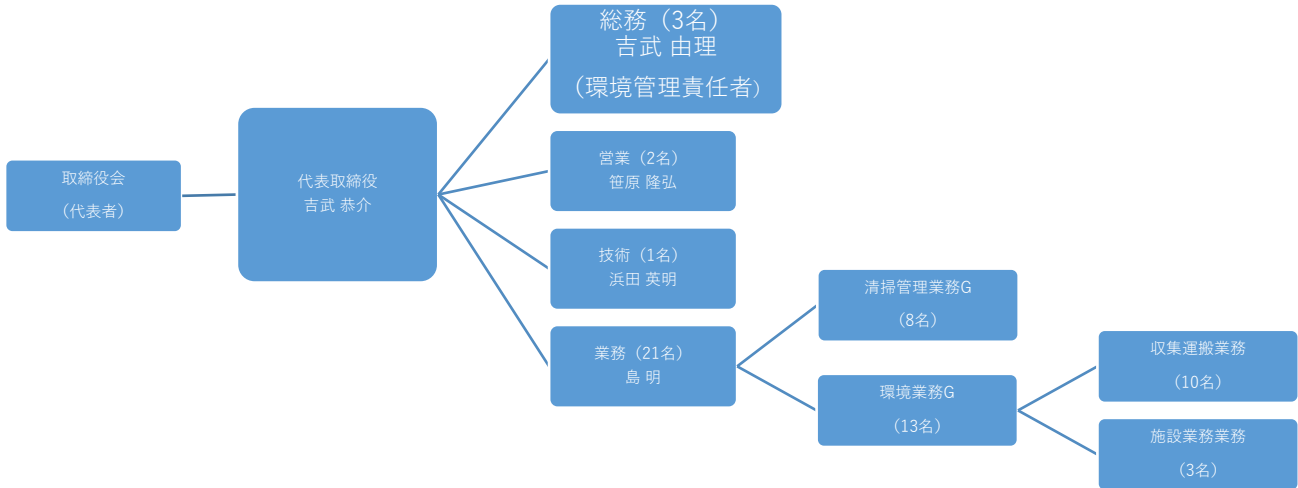
車両の種類	台数
4t塵芥車	7台
3t塵芥車	1台
2t塵芥車	4台
3tダンプ車	1台
2tダンプ車	2台
4tコンテナ車	2台
2tコンテナ車	1台
4tユニック車	1台
軽トラック	1台

↑内平成27年度燃費基準達成車	
4t塵芥車	4台
2tダンプ	2台
脱着式2tコンテナ車	1台



3. 認証・登録の対象組織及び活動

会社組織図



※各部門に記載している者を責任者とする。

<役割責任権限表>

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任・環境方針の策定 見直し及び全従業員へ周知 環境経営システムの実施に必要な設備、費用を準備 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営目標、環境経営計画を設定 環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び遵守評価 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境関連業務の手順書作成・環境経営レポートの確認
	環境事務局 環境管理責任者の補佐
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システム、教育訓練の実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 自部門に関わる緊急事態への対応の試行、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 環境経営計画に基づき自主的・積極的に環境活動へ参加

認証・登録の対象組織

認証・登録事業者名：ワコウクリーンサービス株式会社
 対象事業所：本社、論田事務所、論田中間処理工場、駐車場
 当社の全組織・全活動を対象とします。



4. 環境経営目標実績と環境経営計画実績

中長期環境経営目標

		46期	47期	48期	49期
		2019年9月 ～2020年 8月	2020年9月 ～2021年 8月	2021年9月 ～2022年 8月	2022年9月 ～2023年 8月
46期の値を 基準値としています。		基準	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/百万円	689.1	682.2	675.3	668.4
	基準値比		-1.0%	-2.0%	-3.0%
自動車の燃費向上 (収集運搬車含む)	k m/L	4.80	4.84	4.89	4.94
	基準年度比		+1.0%	+2.0%	+3.0%
	L/件	42.2	41.7	41.3	40.9
	基準値比		-1.0%	-2.0%	-3.0%
水使用量削減	m ³	129	127.7	126.4	125.1
	基準年度比		-1.0%	-2.0%	-3.0%
受託した産業廃棄物の 再資源化率向上	%	57.2	58.2	59.2	60.2
	基準年度比		+1.0%	+2.0%	+3.0%
一般廃棄物の再資源化 率向上 (自社排出分)	%	57.4	58.4	59.4	60.4
	基準年度比		+1.0%	+2.0%	+3.0%
個人スポット回収増加	件	328	350	377	393
	基準年度比		+7.0%	+15.0%	+20.0%

45期以前：購入電力排出係数は平成27年度四国電 0.651kg-CO2/kwh

46期：購入電力排出係数は平成30年度四国電 0.462kg-CO2/kwh



今期の目標と実績

		44期	45期	46期	47期			47期 評価
		2017年9 月～2018 年8月	2018年9 月～2019 年8月	2019年9 月～2020 年8月	2020年9月～2021年8月			
		実績	実績	実績・基準	目標	実績	達成率	
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/百万円	747.3	685.3	689.1	682.2	740.8	92.1%	△
	基準値比				-1.0%	+7.5%		
自動車の燃費向上 (収集運搬車含む)	k m/L	4.55	4.77	4.80	4.84	4.63	95.7%	○
	基準年度比				+1.0%	-3.5%		
	L/件	46.2	40.4	42.2	41.7	41.5	100.4%	○
	基準値比				-1.0%	-1.6%		
水使用量削減	m ³	123	130	129	127.7	110	116.1%	◎
	基準年度比				-1.0%	-14.7%		
受託した産業廃棄物の再資源化率 向上 (中間処理)	%	60.1	50.0	57.2	58.2	67.3	115.6%	◎
	基準年度比				+1.0%	+10.1%		
一般廃棄物の再資源化率向上 (自社排出分)	%	60.6	49.3	57.4	58.4	53.2	91.1%	△
	基準年度比				+1.0%	-4.2%		
個人のスポット回収	件	300	333	328	350	368	105.1%	○
	基準値比				+7.0%	+12.2%		

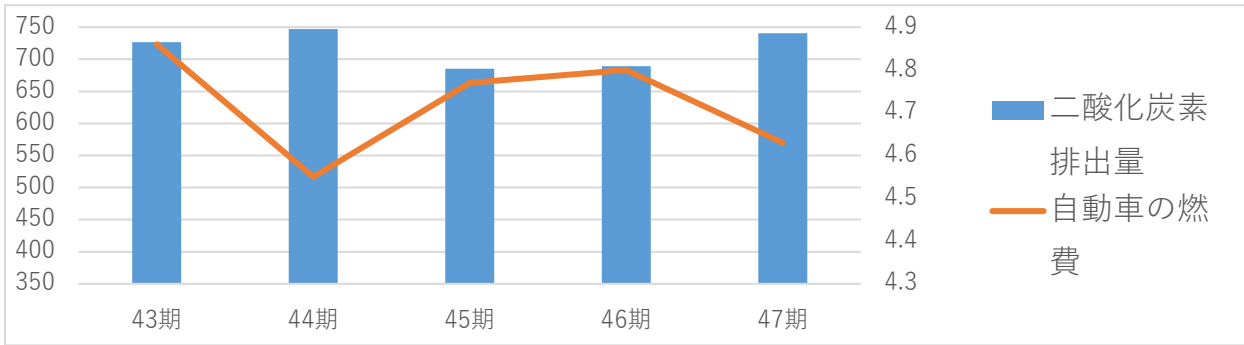
※達成度が106%以上◎、95～105%○、80～94%△、79%以下×の評価としています。



項目別達成状況

EA21 認証登録より 5 年間の環境負荷の推移です。環境活動として 47 期二酸化炭素排出量と自動車の燃費、水使用量と売上を比較しました。経済活動として個人のスポット回収を棒グラフにし、徳島市の人口を折れ線グラフで比較しました。

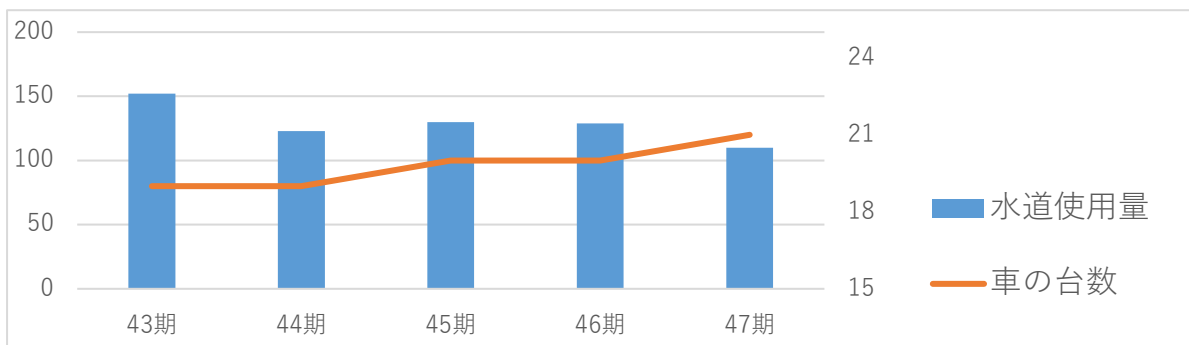
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/百万円)	  	47 期目標	実績
		682.2	740.8



結果と次年度の取り組み

電力、燃料、灯油の使用に伴う二酸化炭素排出量です。今期は事務所移転に伴って、事務所から回収場所の距離が遠くなり、二酸化炭素排出量が多くなっています。回収ルートが変更になったため、燃費が低下しています。回収ルート改善を行い、二酸化炭素排出量削減、燃費向上に努めます。

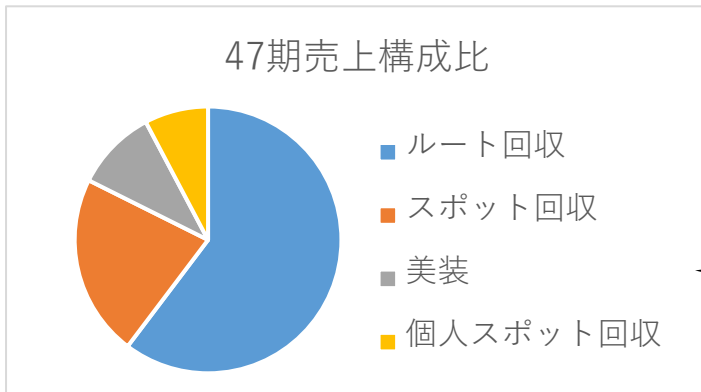
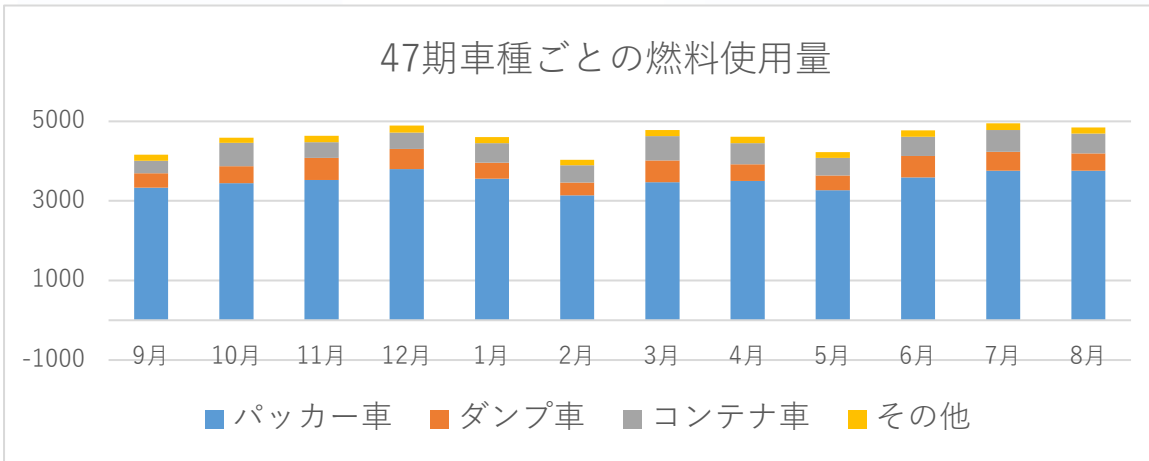
水道使用量 (m ³)	 	47 期目標	実績
		127.7	110



結果と次年度の取り組み

事務所内、洗車、缶ビンペットボトルの分別に水を使用しています。その中で洗車に使用する割合が高く、車両は 46 期より 1 台増車していますが水の使用量は 19 m³減少しています。今後も洗車はきちんと行い、漏水や水道の閉め忘れがないように努めます。

車種ごとの燃料使用量と売上構成比



パッカー車の燃費使用率が約7割

ルート回収の売上が約6割



環境経営計画と実績

目標	取組計画	評価	総合評価
二酸化炭素排出量削減	空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃）	○	
	クールビズ、ウォームビズの実施	◎	
	照明の不要時消灯	◎	
	中間処理作業の効率化	○	
自動車の燃費向上 （収集運搬車含む）	エコドライブの実施	○	
	車両の日常点検	△	
	適切なルート選択	○	
	ヒヤリハットの共有	○	
	※上記は二酸化炭素排出量削減の実施事項でもある		
水使用量削減	洗い物はまとめて行う	◎	
	洗車時に節水を心がける	○	
	点検時に水漏れを確認する	○	
受託した産業廃棄物の 再資源化率向上	論田工場での分別作業の徹底	◎	
	新規業者受入前の処理先確認	○	
	中間処理施設の廃棄物状況の確認	○	
受託した廃棄物処分への 環境配慮及びサービスの改善	排出者へ分別協力依頼	○	
一般廃棄物の再資源化 率向上（自社排出分）	用紙から電子データ化に移行	○	
	分別ボックスの設置、再利用	◎	
化学物質の適正管理	適正場所に保管	◎	
	漏洩防止	◎	

<評価>

今期は取り組み開始から 4 年目です。今期の結果としては 7 項目中 2 項目の目標が未達成でした。

来期は事務所移転に伴い、二酸化炭素排出量、水使用量が多くなる可能性があります。来期より新しい取組計画『アイドリングを減らす』を追加し、ゴミ投棄場の待ち時間や事務所への報告時間などの時はエンジンを停止し、二酸化炭素排出量削減に努めます。また、洗濯機が大きくなったため『洗い物はまとめて行う』を徹底し、水使用量削減に努めます。

『ブレーキランプがつかない』、『エンジンオイル不足』など車の点検不足による問題があったため『車両の日常点検』を徹底していきます。

個人スポットの回収については前年度よりも数値を改善することができました。来期は回収後のチラシ配りを行い、引き続き件数の増加に取り組んでいきます。

来期は事務所移転後の数値を基準値、目標値とし活動していきます。

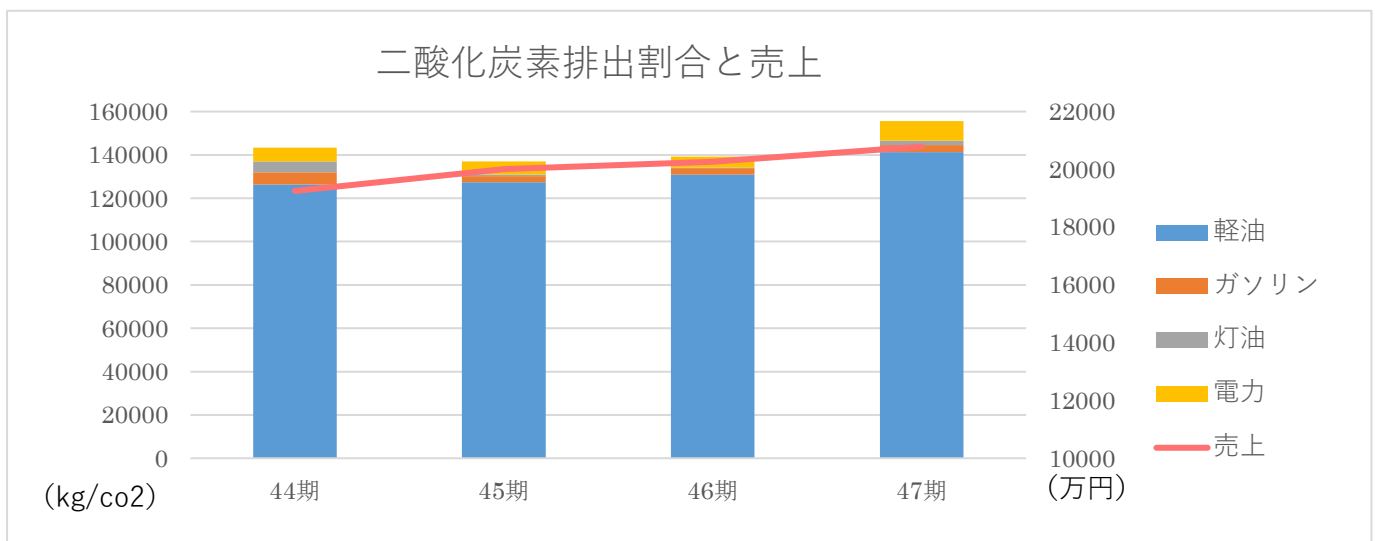
5. 主な環境負荷の実績

4年間の環境負荷の実績

項目	単位	44期	45期	46期	47期
二酸化炭素排出量	kg-CO2	143,489	137,060	139,204	153,345
→電力使用量	kWh	9,884	9,463	10,871	19,314
→ガソリン使用量	L	2,406	1,219	1,278	1,408
→軽油使用量	L	48,194	48,533	50,757	53,896
→灯油使用量	L	2,003	282	106	845
一般廃棄物排出量（自社分）	t	0.83	0.73	0.54	0.28
水使用量	m ³	123	130	129	110
売上	万円	19,252	20,009	20,268	20,788
徳島市人口	万人	254,595	253,122	252,412	251,071

45期以前：購入電力排出係数は平成27年度四国電 0.651kg-CO2/kwh

46期、47期：購入電力排出係数は平成30年度四国電 0.462kg-CO2/kwh



<評価>


電力使用量と軽油使用量が増加していますが、収集運搬・中間処理の受入も増加し、事務所移転により使用する電気も増加しています。

回収ルートの変更や節電などを行い、使用量削減に取り組めます。



回収や処分に伴う燃料使用量、中間処理に伴う電力使用量の増加は否めませんが、エコ運転や中間処理作業の効率化に取り組み、環境保全との両立を目指してまいります。



今期月別の環境負荷の実績

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
電力 (kWh)	1,115	1,231	1,668	1,648	2,029	2,045
ガソリン (L)	110	255	119	99	83	105
軽油 (L)	4,050	4,476	4,491	4,795	4,519	3,931
灯油 (L)	0	40	75	209	200	211
水使用量 (m ³)	7.5	10.5	10.5	8.0	8.0	9.5
受託した産廃の再資源化率	56.0%	72.1%	72.1%	57.4%	53.8%	82.2%
自社排出一廃の再資源化率	50.0%	75.0%	60.0%	60.0%	50.0%	50.0%
評価	電気の削減◎ 燃料の削減○ 水の削減◎ 産廃○ 一廃○	電気の削減◎ 燃料の削減△ 水の削減△ 産廃◎ 一廃◎	電気の削減△ 燃料の削減△ 水の削減○ 産廃◎ 一廃○	電気の削減△ 燃料の削減× 水の削減○ 産廃○ 一廃○	電気の削減× 燃料の削減△ 水の削減○ 産廃○ 一廃○	電気の削減× 燃料の削減◎ 水の削減○ 産廃◎ 一廃○
備考	今季の売上が一番高い月でした。電力使用量の目標を達成できました。	方針発表会で来期の目標とEA21の取り組みを確認しました。	安全運転管理者講習に参加しました。	産廃講習会に参加しました。	消火器を入れ替えました。 	寒い日が続いたため、電力、灯油消費量が多くなっています。

今期の主な環境負荷の実績

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
電力 (kWh)	1,837	1,617	1,525	1,178	1,344	2,077
ガソリン (L)	78	82	119	112	136	110
軽油 (L)	4,704	4,610	4,111	4,662	4,814	4,733
灯油 (L)	110	0	0	0	0	0
水使用量 (m ³)	9.5	9.0	9.0	9.0	9.0	10.5
受託した産廃の再資源化率	69.3%	79.7%	70.6%	81.1%	49.8%	77.0%
自社排出一廃の再資源化率	50.0%	57.1%	62.5%	50.0%	60.0%	60.0%
評価	電気の削減△ 燃料の削減× 水の削減○ 産廃○ 一廃○	電気の削減○ 燃料の削減△ 水の削減○ 産廃◎ 一廃○	電気の削減○ 燃料の削減○ 水の削減○ 産廃◎ 一廃○	電気の削減◎ 燃料の削減△ 水の削減○ 産廃◎ 一廃○	電気の削減○ 燃料の削減× 水の削減○ 産廃△ 一廃○	電気の削減× 燃料の削減× 水の削減○ 産廃◎ 一廃○
要因 	引っ越しシーズンのため、粗大ゴミ回収が一番多い月となりました。	倉庫の片づけを行い、廃棄物保管場所の見直しを行いました。	EA21 会議を開き、今期の進捗について、話し合いました 	中間審査がありました。	缶ビンペットボトルが多く排出されるようになり、回収に伴って洗車回数が増えました。	連日の猛暑のため、低温度での冷房使用が増え電力使用量が多くなりました。

6. 次年度環境経営計画

環境目標	取組計画	
二酸化炭素排出量削減	空調の適温化(冷房 28°C、暖房 20°C)	事務所 2 階の電気と空調の消し忘れに注意する。
	クールビズ、ウォームビズの実施	
	照明の不要時消灯	
	空調使用後の停止	
	中間処理作業の効率化	
自動車の燃費向上 (収集運搬車含む)	エコドライブの実施	ゴミ投棄場の待ち時間や事務所への報告時間などの時はエンジンを停止し、アイドリングを減らします。
	車両の日常点検	
	適切なルート選択	
	アイドリングを減らす <i>New!</i>	朝会で共有するほか、ヒヤリハットがあった時はドライブレコーダーで確認する
	ヒヤリハットの共有	
※上記は二酸化炭素排出量削減の実施事項でもある		
水使用量削減	水道使用後は水を止める	手洗いの機会が増えたため、水道使用後の閉め忘れに注意する
	洗車時に節水を心がける	
	点検時に水漏れを確認する	
受託した産業廃棄物の再資源化率向上	新規業者受入前の処理先確認	コンテナ回収の産業廃棄物は 1 か月以内に分別する
	中間処理施設の廃棄物状況の確認	
受託した廃棄物処分への環境配慮及びサービスの改善	排出者へ分別の協力依頼	昨年同様、全社員で取り組み
一般廃棄物の再資源化率向上(自社排出分)	用紙から電子データ化に移行	昨年同様、本社社員で取り組む
	分別ボックスを設置、再利用	
化学物質の適正管理	適正場所に保管	事務所に納品された洗剤はすぐに置き場に運ぶ
	漏洩防止	

<環境コミュニケーションの実施>

ウェブ上：ホームページで環境経営レポートの公表、他業者とのウェブ会議

地域：徳島県産業資源循環協会主催のゴミ拾いに参加

社内：環境経営方針等の社内掲示、月 1 回朝会でヒヤリハットの共有

半年に 1 回のドライバーミーティングで車両整備の再確認、エコドライブの推進

年 1 回の経営方針発表会でエコアクションの取組状況を確認



7. 環境関連法規

廃棄物処理法	許可の確認と更新 産業廃棄物収集運搬車に掲示板：60cm×60cm以上の表示 受託した廃棄物の飛散・浸透防止 マニフェストの交付、期日までの返却 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出			
騒音規制法	特定施設の事前届出 地域別騒音基準の順守（三種区域） ・65 d b（昼間：午前7時～午後7時） ・60 d b（朝：午前5時～午前7時） ・60 d b（夕：午後7時～午後10時） ・55 d b（夜間：午後10時～翌朝5時）			
浄化槽法	保守点検の実地、清掃の実地（1回/年） 法定検査の受検（1回/年）			
下水道法	公共下水道管理者にあらかじめ届け出			
徳島市下水道条例	下水道使用料の納付			
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収業者への適切な引き渡し フロン類回収時の委託確認書交付と引取証明書の保存（3年間） 第1種特定製品の簡易点検（1回以上/3ヶ月） フロン類算定漏洩量の報告（漏洩量1000t-CO2以上）			
消防法	指定可燃物の貯蔵・取扱の届出 防火対象物及び消火器設置、点検（1回以上/6か月）			
	防火対象	消火器設置基準	当社施設	設置義務
	中間処理施設	延べ面積150㎡以上	826㎡	5本
	助任駐車場	延べ面積150㎡以上	266㎡	2本
	事務所	延べ面積300㎡以上	232㎡	なし
本社	延べ面積300㎡以上	50㎡	なし	
家電リサイクル法	特定の家電製品の引渡し、リサイクル料金の支払い			
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への引渡し、リサイクル料金の支払い			
脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	環境マネジメントシステムの導入及び推進 温室効果ガス排出量の削減に努める			

遵守状況

環境関連法規等の遵の結果、環境関連法規等は遵守されてきました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。



8. 取り組み紹介

安全運転研修・運転適性診断

ヒヤリハット(危険を感じた瞬間)が発生すると、朝会で発表したりドライブレコーダーで実際の映像を見たりして共有します。自分が運転しているとすればどう対応するか、危険の兆候はなかったかなどの意見を出し合い、事故防止に役立てています。

また車両の点検を行った際、小さなトラブルでもすぐ報告をしています。小さなトラブルを放置しておくで大掛かりな修理が必要になる可能性があるためです。小さな車両メンテナンスにより燃費向上や車両トラブルでの事故防止につながっています。



年1回の運転適性診断テスト

車両の設備

みまもりくん(車両の走行距離、燃費、COの排出量、ドライバーの運転操作情報などの運行データを収集する運行管理システム)を車両11台に設置、ドライブレコーダーを車両22台に設置しています。車両の位置情報を把握し、回収時間帯の確認、配車組みを行っています。



安全運転賞の表彰

年1回の方針発表会では1年以上無事故のドライバーに表彰を行っています。事故をしない運転はエコドライブにつながっています。



- 2018年エコ運転 2名
- 安全運転 1年 3名
- 安全運転 5年 1名
- 2019年安全運転 1年 3名
- 安全運転 3年 2名
- 安全運転 5年 1名
- 2020年安全運転 1年 3名
- 安全運転 3年 1名
- 安全運転 5年 2名

強アルカリ電解水生成器

ハウスクリーニングやオフィス清掃、イベントトラック清掃にアルカリイオン電解水を使用しています。精製したものはpH12.5のため、通常は希釈して使用します。

POINT 1 洗剤・薬剤ゼロ

電解水は次亜塩素酸や界面活性剤などを使用していない純度99.9%の水です。洗浄のほか除菌も行えます。

POINT 2 節水・コスト削減

界面活性剤を使用していないため泡が発生せず、洗浄と同時にすすぎができ二度拭きの必要がありません。そのため節水・作業時間短縮につながり、コスト削減効果が期待できます。

POINT 3 体・環境に優しい

時間とともに中性に戻るため無害性が高く、洗剤成分の残留がないため汚れの再付着を防ぐことができます。また電解質の溶解はわずか0.1%のため触っても刺激がなく肌荒れの心配もありません。



<取引先への協力呼びかけ>

ルート回収の際、定期回収分以外のごみがある・分別ができていない・ごみ庫の中が汚いなどといったことがあります。そんな時ドライバーはごみを写真で報告をしています。写真で報告することにより、現地確認に行く必要があるかどうか判断しやすくなり、燃料と時間の短縮になっています。また新規取引の際は分別表を手渡し、改めて分別方法を確認してもらっています。



↑ 定期外廃棄物報告写真

店舗の形態、排出市町に→
合わせた分別表

ごみの分け方・処理のよしを併せて掲載しております。ご協力をお願いします。

ワコウクリーンサービス株式会社

	燃やせるごみ	燃やせないごみ				紙類
		ビニール・プラスチック	金属類・びん・缶類	燃やさない	資源物	
物	 生ごみ 紙くず (燃焼できないもの)	 プラスチック容器類 ラップ、ビニール類 紙袋・紙ロール	 金属用缶類の缶、缶入りの缶 飲料用、食品用ビン 飲料用ペットボトル	 燃やさない カラシ類(化粧系など)、コップ等 (燃焼時の一時多量発生品)	 資源物 ライター、チャックマンなど スプレー缶 (燃焼時で発生しない品)	 タンボール 雑誌類 新聞
ごみ袋	 燃焼・可燃物の袋に入れています (燃焼可能)	 燃焼・可燃物の袋に入れています (燃焼可能)	 燃焼・可燃物の袋に入れています (燃焼可能)	 燃焼・可燃物の袋に入れています (燃焼可能)	 燃焼・可燃物の袋に入れています (燃焼可能) この燃やせないごみ袋は燃やせる袋に入れません。燃やせる袋は燃やせる袋に入れてください。	

・粗大ごみや退去時の一時多量ゴミが出る際はご連絡ください。



TEL(088)626-2639 ワコウクリーンサービス(株)

緊急事態発生訓練

2020年12月に火災発生訓練を実地しました。工場火災につながる廃棄物の確認も併せて行いました。



9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

見直し実施日：2021年10月29日

見直し項目：環境経営方針（変更無）

：環境経営目標・環境経営計画（経営計画達成手段追加）

：実施体制・システム（変更無）

環境経営目標の達成状況

目標項目	目標値 達成状況	経営計画 実地状況	環境経営目標と経営計画に 対するコメント
二酸化炭素排出量削減	△	△	取り組みを継続する
自動車の燃費向上	○	◎	アイドリングを減らす活動を続け、燃費向上に取り組む。
水使用量削減	◎	◎	取り組みを継続する
受託した産廃の再資源化	◎	◎	取り組みを継続する
自社の廃棄物の再資源化	△	○	取り組みを継続する
化学物質の適正管理	○	◎	取り組みを継続する

周囲の変化の状況

< 苦情受付簿より >

パッカーのゲートは閉め、車両清掃の際、汚水タンクのゴミが洗車場側溝に流れないように再度周知する。

代表者指示事項

- ・回収ルートの変更を進めて、二酸化炭素排出量を減らしていきましょう。
- ・車両から離れる際のエンジンOFFを徹底しましょう。
- ・車間距離を十分にとり、ふんわりアクセルを徹底しましょう。
- ・事務所内の節電、節水意識を高めましょう。

総括

事務所移転により作業の仕方、回収ルートが大幅に変わりました。投棄施設が近くなったことや仕分け作業がしやすくなったなどのメリットもありますが、事務所が大きくなった分使用電力の増加、水道使用量の増加などのデメリットもあります。節電、節水に取り組んでいきます。

2020年2月頃から新型コロナウイルスが流行しています。現在も終息していませんが、取引先の営業再開や新店舗増加など、終息の兆しが見られます。引き続き感染対策を行って業務を続けていきます。新型コロナウイルスの一刻も早い終息を願っております。

